

## 2020年度 経済学部ゼミナール募集要項（1次募集）

職名	氏 望月 宏名	教員所属コース	採用予定	ゼミナール研究論文
教授	教授	企業と情報	2年次 6~7名	有
テ ー マ	<p>「グローバル経済化の進展と日本の成長戦略分析」（経済分析ゼミ）                      「グローバル経済化の進展と国際経済比較分析」（国際比較ゼミ）</p>			
内  容	<p>（経済分析ゼミ） グローバル経済化が急速に進む中にあたって日本社会が大きな転換期を迎えた今、日本経済の基本的な強さと問題点について分析し、日本の成長戦略を探り、21世紀の世界における日本の役割を考察する。</p> <p>（国際比較ゼミ） 国際的な観点から、日本経済を相対的、横断的に分析するために、諸外国との間で英語の資料を多用した比較経済分析を行う。</p>			
採  用  方  法	<p>本人のやる気と能力、ゼミ活動への適性を一人一人丁寧に見させていただきます。選考は、個人面接とグループディスカッションの2つで行います。詳しい内容については「ゼミ説明会(9月23日、25日)昼休み」「公開ゼミ(10月3日4限、10月10日5限)」で説明するので、いずれかに必ず参加すること。</p>			
活  ゼ  ミ  動  ナ  イ  テ  ム  状  況	<p>ゼミではゼミ生が提案したテーマを基に少人数の班に分け、半年間かけて分析を行う。故に輪読形式のゼミではない。分析では各ゼミ生が独自に調べた資料に加え、電話・メールを使った企業への取材や、時には企業訪問を行うことで問題の発見・分析を経て最終的にゼミとしての改善提案を行う。過去3年間のテーマでは「不動産中古・リフォーム産業の活性化、スポーツ産業の復興、金融資産のポートフォリオ選択、産学連携の研究開発、第四次産業革命、物流における輸出コストの増加、働き方改革による女性の社会進出」などがあり、幅広い分野で分析を行ってきた。</p> <p>普段のゼミ活動は、サブゼミでのPowerPointによる基礎資料作り→教授への報告、指摘された修正の改善→ゼミ生全員に向けて発表という流れを2週間のサイクルで繰り返し実施している。</p> <p>また分析以外でも、OBOGの先輩方との歓談を行うフォーマルパーティー、OBOGの先輩方の仕事紹介とゼミ生の研究発表で交流を行う”Laboratory Conference“や合宿においても4年生による就活相談会など就職活動を意識した活動も行っている。そして、学内イベントである経済学部ゼミ連合主催の新人戦や、学外イベントでは日経BP主催のインター大会に参加するなど精力的に活動を行っている。</p> <p>これらの活動を通し、「問題発見・解決能力」「思考スキル」「プレゼンテーションスキル」「コミュニケーションスキル」を身に付け社会で活躍できる人材を育成している。</p> <p>過去のOBOGの内定先は、(情報通信)NTT コミュニケーション、富士通(金融)みずほ銀行証券、三菱UFJフィナンシャルグループ、大和証券(広告)アサツーディ・ケイ(公務員)経済産業省、東京都庁(大学院)東大、一橋大、大阪大、上智大など多数</p>			

採用対象	経済学科・国際経済学科より採用
備考	<p>※望月ゼミでは望月が 2022 年 3 月に退職となるため、2 年次採用のゼミ生は 4 年次でゼミ移動が生じる。その際、4 年次は比較的領域の近い先生のゼミへ移行できるようになっているので、2 年次の応募も受け付けている。</p> <p>また、質問などはゼミ研究室を訪れるか、以下のメールアドレスで受け付けている。 メールアドレス： w300097@senshu-u.jp 普段のゼミ活動等を知りたい場合は HP を参照すること。 公式 HP：望月宏研究室 (URL) <a href="http://www.isc.senshu-u.ac.jp/~the0350/v5/top.html">http://www.isc.senshu-u.ac.jp/~the0350/v5/top.html</a></p>